



共に伸び、共に輝け、感謝・感動

しなやか えだわん



えだわんだより

横浜市立荏田東第一小学校

〒224-0006 横浜市都筑区荏田東三丁目5番1号

◆Tel…045-941-7630 Fax…045-942-9464



祈りの夏

学校長 熊谷 潤平

思えば去年の今頃は、後日撤回されることになる観測史上最も早い「梅雨明け宣言」がすでに発表されていました。6月だというのに蝉は賑やかに合唱し、連日気温は35度を超えました。猛暑・酷暑に翻弄され、快晴にもかかわらず屋外活動や水泳学習の可否を冷や汗を流しながら判断。それに比べれば、今年は少しだけ「平年並み」に近い梅雨、と言えましょうか。

お陰様で、今年も、5,6年共に無事宿泊体験学習に行ってくることができました。6年は日光、5年は西湖。両学年とも、天候に恵まれ、豊かな体験を積むことができました。帰校時の、疲れを感じさせない充実した子どもたちの表情が、充実した体験を物語っていました。

また先日は、全学年が今年度1回目の水泳学習を終えることができました。何人かの子どもたちに取材させてもらったところ、気温29度、水温27度であっても、声を揃えて、「寒かった!」「冷たかった!」と言っていました。

宿泊体験学習や水泳学習を筆頭に、我々教職員が指導に当たるとき、そこには強い祈りが伴います。宿泊ならば、「うれしさのあまり多少寝不足になったとしても、大きく体調を崩しませんように。」水泳であれば、「ちゃんと安全にプールに入り、プールから上がれますように。」体育・調理実習ならば、「できるだけ保護者の皆さんに心配をかけず、怪我無く学習活動を完遂できますように。」そんなふうに祈りつつ、その上で、日々計画や準備をしています。

でも、「物事は準備こそが最重要」と、入念に計画や準備をする甲斐があるのは、子どもたちの成長や頑張りを感ずることができるからです。

6月16日のプール開きでは、6年生が全校児童に向けて語ってくれました。一部を紹介します。

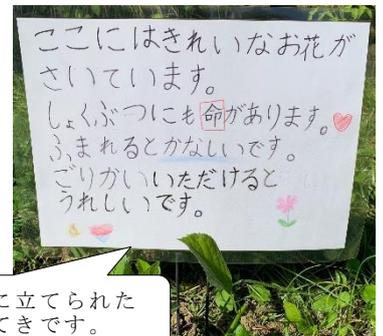
泳ぐときのポイントを、分からない人に教えて、みんなが「分かった」「できた」を実感できるようにしたいです。ただ泳げるようになるだけではなく、みんなが周りの人のことを気遣う「思いやりの気持ち」を大切に、自分も先生もみんなと共に成長していけるようになったらいいなと思っています。

全校代表にふさわしい、実にさすがらしく、健やかな宣言です。学校だから、ときに、冷やりとすること、大変なことはあるけれど、こうやって子どもは立派に育っていきます。

さあ、この夏・この夏休み。えだわんの子たちは、どんな成長を遂げるのでしょうか。大いに脳も体も働かせ、汗をかき、夏を満喫してほしいと思います。

昨年ほど賑やかではないにしても、耳を澄ませば、紫陽花ロードから蝉の声が今年も聞こえてきました。「6月の蝉」はやっぱり違和感があるけれど、「もう夏だよ。夏休みが近いよ。」という励ましの声と捉え、夏休みまでの残り僅かな登校日を充実させていきたいと思っています。

多くの子どもたちが楽しみにしている夏休み。一方で、日本中で痛ましい事故が、実は「たくさん」しかも「毎日」起きているという事実が厳然とあります。「誰一人、事故・事件に決して遭うことなく、無事に夏を過ごせますように。」「それぞれが思い出に残る、豊かな、すばらしい夏になりますように。」と今年も祈りつつ、夏休み明け、また一つ、たくましくなったみんなに、笑顔で会えることを楽しみにしています。



紫陽花ロードに立てられたメッセージ。すてきです。